

TOEIC[®]プログラムのご紹介

～TOEICプログラムの出題内容、活用状況等について～

2015年3月17日

一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会

試験の目的・内容・出題意図の概要

★グローバルに活用されている英語コミュニケーション能力テスト

■テスト作成機関

Educational Testing Service (ETS) 世界最大の非営利テスト開発機関 (TOEFL[®], SAT[®]等も作成)
TOEICプログラム (TOEICテスト / TOEIC S&Wテスト / TOEIC Bridgeテスト) の開発・作成

■TOEIC プログラム受験者数

<世界> *2013年

年間約700万人、150ヶ国、受験者の52%が学生
活用団体数14,000以上(企業・大学・団体等)

<国内> *2013年度

TOEICプログラム総受験者数 258.5万人
うち大学生受験者数 68.9万人 (公開テスト 29.7万人、IPテスト39.2万人)
IPテスト採用大学数 483校(全国約780大学の約6割)



■TOEICテスト活用状況

<世界> *2013年 受験目的: 約2割=進学・卒業、約3割=就職

■学生から社会人まで“生涯に渡って使える英語コミュニケーション力”の“尺度

■TOEICテストとTOEIC S&Wテストの組み合わせで英語4技能の測定が可能

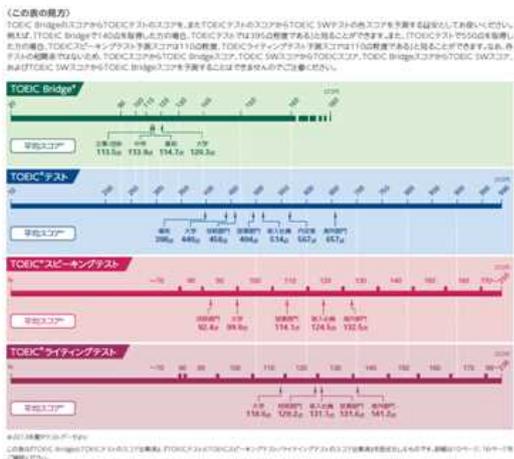
※詳細は、TOEICプログラムDATA&ANALYSIS 2013、TOEICテストWorldwide Report2013をご覧ください。

★両テストの組み合わせにより英語4技能を測定

	テスト	目的	内容
TOEIC 技能	TOEIC テスト	日常的で身近な内容からビジネスまで幅広い英語によるコミュニケーション能力を測定。	<ul style="list-style-type: none"> ■10点～990点のスコアで評価 ■2時間200問 (Listening45分100問 / Reading75分100問) <p>ペーパーテスト</p>
	TOEIC S&W テスト	国際的な職場環境において、効果的に英語でコミュニケーションするために必要な、話す・書く能力を測定。	<ul style="list-style-type: none"> ■Speaking 0～200点 ■Writing 0～200点 (各10点刻み) ■約80分 (Speaking 20分 11問 / Writing 60分 8問) <p>CBT形式</p>

★社会で求められる英語コミュニケーション能力に直接つながる指標

TOEICプログラムのスコア比較表



国家公務員採用総合職における英語試験の活用

活用方法

求めるスコア等と加算点

英語試験のスコア等を有する受験者には、最終合格者決定の際に、スコア等に応じて、総得点に15点又は25点を加算する

スコア	TOEFL (IBT)	TOEIC	IELTS	英検
15点加算	65以上	600以上	5.5以上	—
25点加算	80以上	730以上	6.5以上	準1級以上

※1 平成26年度総合職試験における総得点は、区分により異なるが、最高点は972～980点、最低得点は492～500点となっており、25点の加算は、各区分の合計得点によって総得点の割合が4%程度となる。

※出典：http://www.jinji.go.jp/kisyu/1312/sougoushoku-eigoshiken.pdf

TOEICスコア	レベル	評価 (ガイドライン)	定率合格ライン (TOEICスコア)	TOEICスコア	TOEICスコア
860	A	Non-Nativeとしても十分なコミュニケーションができる。自分の活動の範囲内では、専門外の分野の話題に対しても十分な理解と応答が期待できる。Native Speakerの域には一歩届かないが、読解・文法・構文のいずれも正確に理解し、流暢に話すことができる。	800	800	海外部門 698
730	B	どんな状況でも適切なコミュニケーションができる能力を備えている。自分の活動の範囲内では、必要に応じて、読解が期待できる。Native Speakerの域には一歩届かないが、読解・文法・構文のいずれも正確に理解し、流暢に話すことができる。	750	750	内定者 657
470	C	日常生活のニーズを充足し、限定された範囲内では、業務上のコミュニケーションが可能である。読解が期待できる。読解・文法・構文のいずれも正確に理解し、流暢に話すことができる。	600	600	海外部門 681
220	D	通常の会話で限られたコミュニケーションができる。自分の活動の範囲内では、必要に応じて、読解が期待できる。読解・文法・構文のいずれも正確に理解し、流暢に話すことができる。	500	500	海外部門 603
10	E	コミュニケーションができるまでに至っていない。自分の活動の範囲内では、必要に応じて、読解が期待できる。読解・文法・構文のいずれも正確に理解し、流暢に話すことができる。	400	400	海外部門 582

※出典：TOEICプログラム Data & Analysis 2013 P.22、P23より

★TOEICプログラムは、CEFR A1～C1程度の英語力を測定

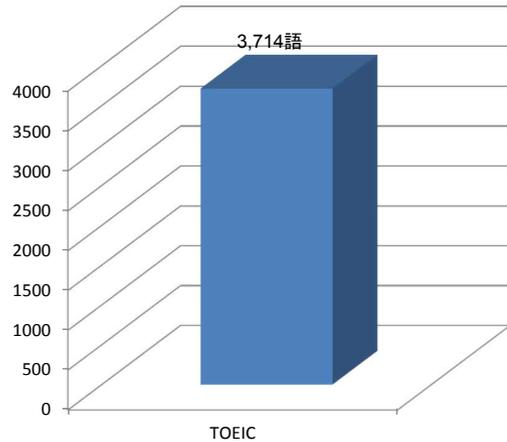
<CEFRとの関係>

CEFRレベル*	TOEICスコア	TOEIC S&Wスコア			
		Listening	Reading	Speaking	Writing
Professional User C1	490~	455~	180~ ^{※1}	180~ ^{※1}	
Independent User B2	400~	385~	160~	150~	
B1	275~	275~	120~	120~	
Basic User A2	110~	115~	90~	70~	
A1	60~	60~	50~	30~	

難しい (上級)
↑
易しい (初級)

<語彙レベルについて(TOEICテストのみ)>

BNC(★)高頻度語彙リスト14,000語との比較



※出典
中条清美(日本大学生産工学部)
Michael Genung(日本大学生産工学部)
「British National Corpusを活用したTOEICテストの分析-語彙活用
水準の定量化と特徴単語の抽出」より引用
(★) The British National Corpus(BNC)は、書きことば、話し言葉
あわせて1億語からなる、世界最大のイギリス英語コーパスです。 5

※出典
TOEICプログラム Data & Analysis 2013 P.22より

Copyright © The Institute for International Business Communication (IIBC).

高等学校学習指導要領との比較

(英語科目)

コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

- 「聞く」「読む」「話す」「書く」の4技能の総合的かつ統合的な育成を図る科目
⇒TOEICプログラムはL/R/S/W 4技能に対応しているため測定ツールとして上記条件を満たしている。

英語表現Ⅰ・Ⅱ

- 「話す」「書く」技能を中心に、論理的に表現する能力の向上を図る科目
⇒TOEIC S&Wテストの中に「解決策を提案する問題」、「意見を述べる問題、意見を記述する問題」があり、上記条件を満たしている。

英語会話

- 身近な話題について会話する能力を養う科目
⇒TOEICテストにて「会話問題」があり会話理解の基礎が測定される。TOEIC S&Wテストに「応答問題」があり、質問に対して即答が求められ、会話能力を身に付けることに役立つ。

高等学校学習指導要領	TOEICプログラム
事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。	<p>【TOEIC S&Wテスト】全般 メッセージなどを聞き、内容理解の上で問題の解決策を提案する。あるテーマについて、自分の意見とその理由を述べる。</p> <p>【TOEICテスト】写真描写問題、応答問題 写真をみて、その写真を的確に描写しているものを選ぶ。質問・文章を聞き、それに対して最もふさわしい答を選ぶ。</p>
「聞き手に伝わるように音読する」とは、概要や要点などの読み手が理解した内容を聞き手が的確に理解できるように、その反応を確かめながら、リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意して音声で表現する。	<p>【TOEIC S&Wテスト】音読問題 アナウンスや広告などの短い英文を45秒で音読する。ネイティブスピーカーにもわかりやすい発音とリズムが問われる。</p>
聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。	<p>【TOEIC S&Wテスト】意見を述べる問題 あるテーマについて自分の意見とその理由を述べる。テーマに対しての自分の意見や立場を明らかにできるか、その理由を例や説明を添えて論理的にわかりやすく話すことができるかが問われる。</p>
多様な考え方ができる話題について、立場を決めて意見をまとめ、相手を説得するために意見を述べ合う。	<p>【TOEIC S&Wテスト】解決策を提案する問題 メッセージなどを聞き、その内容を確認した上で、問題の解決策を提案する。相手の抱える問題点や状況を要約する力、解決策をわかりやすく説明する力が問われる。</p>
論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連などを考えながら読んだり書いたりする。	<p>【TOEICテスト】読解問題 いろいろな文章を読み、質問に対して最もふさわしいものを選ぶ。</p> <p>【TOEIC S&Wテスト】意見を記述する問題 あるテーマについて、自分の意見とその理由を述べる</p>

TOEICテスト リスニングセクション PART 3 (会話問題 30問) サンプル問題

【高等学校学習指導要領】

「事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする」に適合している問題例です。

<問題音声>

問題は音声のみ・実際の問題用紙には何も印刷されていない
(人物A)
Hello. I ordered a computer desk from your catalog at the beginning of the month and I haven't received it yet. Could you look into it for me, please?
(人物B)
Certainly, sir. Do you have your order number, by any chance?
(人物A)
Yes, it's 481-6490[four-eight-one-six-four-nine-zero].
(人物B)
You're Mr. Dona Idoson, right? Well, according to my records, it left our warehouse on Monday — that was the fifth of May — so it should be delivered to you tomorrow.

<解答選択肢>

設問は問題用紙に印刷されている・放送もされる
選択肢は印刷のみ

- Why did the man telephone the woman?
(A) To check on his order
(B) To arrange a delivery time
(C) To cancel his order
(D) To change his order
- What is the man waiting to receive?
(A) A computer desk
(B) A catalog
(C) Some recording equipment
(D) Some music

TOEIC S&Wテスト
スピーキングテストQuestion 1-2 (音読問題 2問)
サンプル問題

<問題例>

以下の英文は画面に表示されます。音声はありません

If you're shopping, sightseeing and running around every minute, your vacation can seem like hard work.

To avoid vacation stress, come to the Blue Valley Inn on beautiful Lake Meed. While staying at our inn, you'll breathe clean country air as you view spectacular sights. With its spacious rooms, swimming pool, and many outdoor activities, the Inn is the perfect place for a vacation you won't forget.

【高等学校学習指導要領】

「聞き手に伝わるように音読する」とは、概要や要点などの読み手が理解した内容を聞き手が的確に理解できるように、その反応を確かめながら、リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意して音声で表現する。」に適合している問題例です。

【評価基準】

発音、イントネーション、アクセント

<音読問題の採点ポイント>

ネイティブスピーカー、英語に堪能なノンネイティブスピーカー双方にとってわかりやすくよめているか、ということが基本となる。

細かなポイントとしては、

- ・英語らしくわかりやすい発音やリズム
- ・自然なイントネーション・アクセント
- ・強調される部分、間のとりかた、音の高低といったことが評価される。

TOEIC S&Wテスト
スピーキングテスト例題

Question 11 (意見を述べる問題 1問)

<問題>

問題の英文を読み上げる音声の流れ、画面にも表示されます。

特定のトピックについて15秒考えたあと、60秒で意見を述べる問題。

出題例:

- ・学校の制服は必要か、必要ないか？
- ・忙しくて給料の高い仕事と、忙しくなくて給料が安い仕事のどちらがよいか？

【高等学校学習指導要領】

「論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連などを考えながら読んだり書いたりする。」に適合している問題です。

<意見を述べる問題の採点ポイント>

解答が自分の選択や意見を明確に示しているか、理由づけは容易に理解することができるか、継続的に話されており一貫性があるか、といったことに重点が置かれている。

また付随的なこととして、

- ・全体のペース
 - ・発音、イントネーション
 - ・構文の正確性
 - ・語彙、語句の使い方
- といったことも評価のポイントとなる。

※同様の設問はライティングテストにもあります。

IIBC 中学・高等学校・大学等との連携による取組み事例

	具体的内容
高等学校 【TOEICテスト】 ■採用校数248校 ■受験者数54,288名 (2013年度)	東京都立立川国際中等教育学校 対象: 4年生～6年生 ※4年生はTOEIC Bridge130点以上の生徒のみがTOEICテストの対象 目的: 卒業までにTOEIC750点取得を目指すため(総合商社での海外駐在基準相当) 東京都立富士高等学校・付属中学校 対象: 高校2年生～3年生 ※中学1年生～高校1年生はTOEIC Bridgeを受験 目的: 国際社会で通用するトップリーダー育成のため(卒業時に目標700点) 法政大学中学高等学校 ※TOEIC Bridge活用事例 対象: 中学3年生～高校3年生 目的: 法政大学への内部進学基準となっているため(140点) 工業高等学校 100以上の職業資格・検定が点数化されており、30点以上は『ジュニアマイスターシルバ-』、45点以上は『ジュニアマイスターゴールド』の称号が贈られる。TOEICスコア、TOEIC Bridgeスコアを教養系の区分の資格検定として活用 高等専門学校 TOEICテストは55校、TOEIC Bridgeは22校が学年ごとの成果指標として活用。専攻科の進学、卒業目標としても活用
大学 【TOEICテスト】 ■採用校数457校 ■受験者数689,075名 (2013年度)	山形大学 対象: 1年生全員および人文学部・工学部2年生 目的: 1年次の基礎教育および人文学部英語科目の成績評価の一部として活用 立教大学 対象: 1年生～4年生全員 目的: 英語力伸長度測定テストとして活用(言語副専攻科目履修時の基準点としても活用) 明治大学 対象: 一部の学部を除いた全学部1・2年生中心 目的: クラス分け、留学参加要件、英語力伸長度測定として活用
IIBCの取組	TOEIC IPテスト、大学入試センター試験比較調査 調査対象: 2014年4-5月にTOEIC IPテストをプレイズメントテストとして受験した新入生(15,450名) 結果: TOEICで高得点を取っている人は例外なくセンター試験でも高得点をとっている 「TOEIC O点取得者はセンター試験ではO点以上取得することができると予想される」といえる 高校生版Can Doガイドの作成 調査対象: 2012年度にTOEIC IPテストを実施した高校 内容: LRSWおよびInteraction、Functionの各能力項目においてスコアごとにCan Do項目を明示

IIBC 中学・高等学校・大学等との連携による取組み事例

■高校・大学・企業へのインタビュー

TOEIC Newsletterにて活用事例をご紹介、年4回「TOEIC Newsletter」を発行し、活用団体にインタビュー取材して、国際人材育成・英語研修・異文化研修に関する情報をご提供しています。下記アドレスからご覧いただけます。

http://www.toeic.or.jp/toeic/about/data/doc_newsletter.html

Newsletter121号(2014年6月)



Newsletter119号(2013年10月)



■高校生版Can Do Guide

■ TOEIC テストCan Doリサーチ

TOEIC (LE) Total Score of 400 - 495 (学生、その他)

	Reading	Writing
Can Do	<ul style="list-style-type: none"> アルファベットを大文字、小文字と区別することができる。 簡単な単語の意味を知ることが出来る。 簡単な単語の意味を知ることが出来る。 簡単な単語の意味を知ることが出来る。 	<ul style="list-style-type: none"> アルファベットを大文字、小文字と区別することができる。 自分の家の住所を書きことができる。
Can Do with Difficulty	<ul style="list-style-type: none"> ペーパーバック等の雑誌、小説を読み取ることが出来る。 事前に日本語のニュースや新聞等で内容を知らなければ、英字新聞を読み取ることが出来る。 英語で書かれた住所を基にその場所を地図上で特定することができる。 自己紹介の内容の手紙を書いて、宛先が分かる人へ送ることができる。 簡単な英語のメールやウェブページの内容を理解できる。 CD等に収録している英語の楽曲の歌詞を見て内容を理解できる。 英語で書かれた自分の興味のあるウェブページの内容を理解できる。 海外旅行の案内パンフレット等を読み取ることが出来る。 簡単な旅行の案内パンフレット等を読み取ることが出来る。 	<ul style="list-style-type: none"> 旅行に持って行くものの一覧表を書くことができる。 友達に自分のCan Do Christmas Card、卒業証書といった短いレターを書くことができる。 友達に自分の住所の「置体」を書いて住所を知らせる手紙を書くことができる。 自分の家まで行く道順を書き表すことができる。 簡単なレターやメールの内容を理解することができる。 簡単な自由文題の作文を書くことができる。 簡単な自由文題の作文を書くことができる。 簡単な自由文題の作文を書くことができる。 簡単な自由文題の作文を書くことができる。
Cannot Do	<ul style="list-style-type: none"> 読めて目にする程度であっても英字新聞を読み取ることが出来る。 「Time」や「Newsweek」といった雑誌の記事を読み取ることが出来る。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分が行った自由文題の内容についての解答書(レポート)作成ができる。 自分の履歴書(履歴表)を作成することができる。 簡単な自由文題の作文を書くことができる。

【リサーチ方法】

Listening, Reading, Speaking, Writing, Function, Interactionの6つのスキルカテゴリー別に100のタスク項目で構成される自己評価型アンケートを作成。
アンケート回答者には、各タスクをどの程度遂行できるかを1:「全くできない」、2:「ほとんどできない」、3:「かろうじてできる」、4:「ほぼできる」、5:「問題なくできる」までの5段階尺度で自己評価を行ってもらい、各人が取得したTOEICスコア・TOEIC Bridgeスコアとの比較を行った。

【データ収集】

TOEICについて高校28校、TOEIC Bridgeは高校10校にて、2012年4月1日から2013年3月31日にかけて実施されたTOEIC IPテスト・TOEIC Bridge IPテストの受験者に対してアンケートを行った。
アンケート結果とスコアとのマッチングを行い、有効な分析対象となったのは、TOEIC 1,416サンプル、TOEIC Bridge 1,824サンプル。

【リサーチ方法】

ビジネスマン(含退職者、退職者)およびその他対象者(主に学生)用にそれぞれ100のタスク項目(Can-Do Statements)で構成される自己評価アンケートを作成。
アンケート回答者には各タスクをどの程度英語で遂行できるかを1:「全くできない」、2:「ほとんどできない」、3:「かろうじてできる」、4:「ほぼできる」、5:「問題なくできる」までの5段階尺度で自己評価を行ってもらい、各人が取得したTOEICスコアとの比較を行った。

【データ収集】

2011年1月30日に行われたTOEIC公開テスト受験者に対しリサーチ参加者募集の案内を行い、実際のアンケートへの回答はWeb上で実施。結果分析対象となったのは、ビジネスマン10,149サンプル、その他対象者9,981サンプル。

■入学試験・単位認定における活用状況

※TOEIC®テスト 入学試験・単位認定における活用状況2013より 大学・短期大学・高等専門学校

※活用校数の中には非公開を希望した学校も含まれているため、掲載校数とは一致しない

	大学	短期大学	高専	合計
調査実施校数	751	347	57	1,155
入学試験活用校数	336	90	37	463
単位認定活用校数	360	75	43	478

□掲載大学の入試形態内訳

掲載大学数	入試形態数	うち公開テストスコア活用数	うちIPテストスコア活用数
434	1,226	1,219	636
		99.4%	51.8%

■スーパーグローバル大学(SGU)採択大学における採用状況

SGU採択全37大学すべてにおいて、すでにTOEICプログラムが活用されています。

■グローバル人材育成推進事業採択大学における採用状況

グローバル人材育成推進事業採択42大学すべてにおいて、すでにTOEICプログラムが活用されています。

岐阜県教育委員会

グローバル・コミュニケーション能力育成支援事業

(2013・2014年度)

事業内容(抜粋)

外部検定試験を実施することにより、本県生徒の実践的な英語力の育成状況や、他国の生徒と比較した英語力、本県の英語教育の課題等を把握・分析し、第2次教育ビジョンの検討に活用する。

実施内容

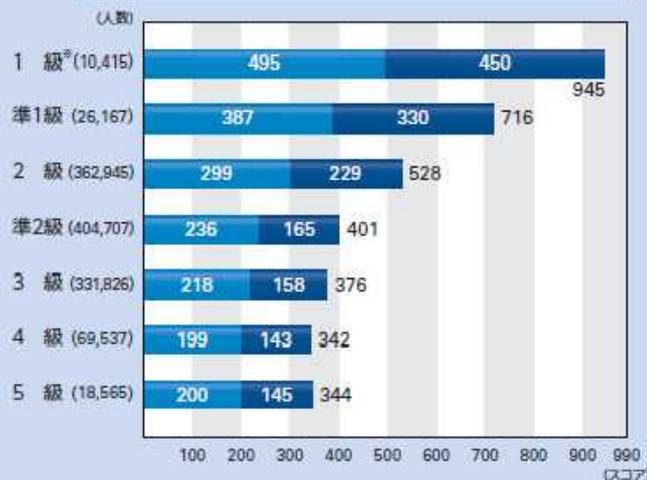
本プロジェクトの外部試験の一つとしてTOEICテストが活用された。

他テストとの比較に関する調査

V-6. 実用英語技能検定(英検)取得級別受験者数と平均スコア

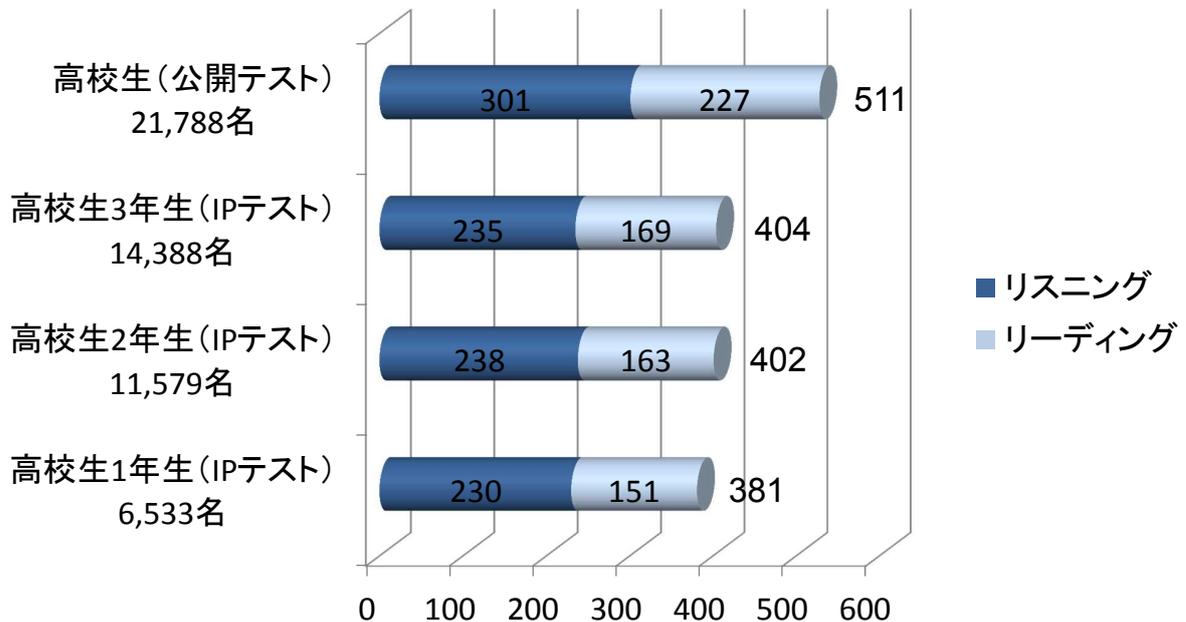
教育機関内で実施されたIPテスト受験者のうち、下記アンケート調査項目の回答データを集計(2001年4月から2014年3月までの集計)

過去1年以内に取得した実用英語技能検定(英検)の級があれば該当するものにマークしてください。



※1級については、総頻値により算出しています。

※出典: TOEICプログラム Data & Analysis 2013 P.9より



※出典: TOEICプログラム Data & Analysis 2013 より抜粋

■ TOEICテストおよびTOEIC S&Wテスト受験料

※受験料は税込表示

受験形態		TOEICテスト (L&R)	TOEIC S&W テスト	4技能合計	備考
公開テスト	個人	5,725円	10,260円	15,985円	個人申込
	団体一括(非賛助会員)	5,725円	10,260円	15,985円	10名以上の一括申込み
	団体一括(賛助会員)	4,645円	9,180円	13,825円	10名以上の一括申込み
IPテスト(団体特別受験制度)	非賛助会員	4,155円	9,050円	13,205円	10名以上の一括申込み
	賛助会員	3,075円	7,970円	11,045円	10名以上の一括申込み

■ TOEICテストおよびTOEIC S&W公開テスト会場数および実施頻度

□ TOEIC公開テスト 会場数および実施頻度

最大全国80都市、256会場、年10回実施
 1月、3月、4月、5月、6月、7月、9月、10月、11月、12月
 北海道、東北、北陸・甲信越、関東、東海、近畿、四国、中国、九州・沖縄

□ TOEIC S&W 公開テスト 会場数および実施頻度

最大全国13都市、30会場
 毎月実施 午前ならびに午後実施 計年間24回
 北海道、宮城、埼玉、東京、千葉、神奈川、静岡、愛知、京都、大阪、兵庫、広島、福岡

★一定以上のニーズがある地域については、TOEIC S&W公開テスト会場の増設も適宜検討いたします。

※IPテスト(団体特別受験制度)はご希望の日時・場所にて実施できます。

■ 4技能スコアレポートの発行開始

IPテスト(団体特別受験制度)においては2015年度からTOEICテストおよびTOEIC S&Wテストのスコアを合わせて1枚にした「4技能スコアレポート(仮称)」を発行致します。公開テストについても検討中です。

▶ 公式情報／申込

TOEIC® テスト公式サイト

<http://www.toeic.or.jp>

▶ お問い合わせ

一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会

IP事業本部 IP企画ユニット

TEL: 03-5521-5911

(土・日・祝日・年末年始を除く10:00～17:00)



Mapping the *TOEIC*® and *TOEIC Bridge*™ Tests on the Common European Framework of Reference for Languages

Executive Summary

Background

The Common European Framework of Reference for Languages: Learning, Teaching, Assessment (CEFR) provides a common basis for describing the skills needed to reach different levels of language proficiency, and is used by language instructors, educators, curriculum designers and agencies working in the field of language development. The CEFR describes language proficiency in listening, reading, speaking and writing on a six-level scale:

- A1 – A2 (Basic User)
- B1 – B2 (Independent User)
- C1 – C2 (Proficient User)

The CEFR provides a descriptive context that may be used to interpret the meaning and practical significance of scores on language tests. If a test score can be one of the levels of the CEFR, what that score means and what candidates with at least that score are likely to be able to do becomes clear.

ETS's Goal

The purpose of this mapping study was to identify the minimum scores on the *TOEIC*® test corresponding to each level. Minimum scores were identified separately for listening, reading, speaking and writing. Minimum scores were also to be identified for the *TOEIC Bridge*™ test corresponding to CEFR levels A1, A2 and B1.

- The *TOEIC*® Listening and Reading test measures the receptive skills of people working in an international environment.
- The *TOEIC*® Speaking and Writing tests measure the productive skills of people working in an international environment.
- The *TOEIC Bridge* test measures the emerging receptive skills (listening and reading comprehension) of early learners in an international environment.

Standard-setting Study

Standard setting is the process by which a panel of informed experts makes score requirement recommendations that correspond with the level of knowledge, skill, proficiency, mastery or readiness candidates need in order to be placed in a certain category. The end result of standard setting is a recommended minimum score requirement, or cut score. The minimum scores for each CEFR level in this particular study are presented as lower limits of the level for each modality.

For this study, the panel consisted of 22 experts (English-language instructors, administrators or directors of language programs and language testing experts) from 10 different European countries.



Results

The expert panel was asked to recommend minimum test scores (cut scores) for each of the six CEFR levels (A1 through C2). Because it was possible that not all panelists would believe that a test section addressed each CEFR level, ETS established a criterion whereby at least two-thirds (67 percent) of the 22 panelists had to indicate that it was appropriate to recommend a cut score for a level. The table below presents the recommended minimum score for each test section at each CEFR proficiency level for the tests reviewed.

At least two-thirds of the panel concluded that the TOEIC Listening, Speaking and Writing sections ranged from the A1 level to the C1 level, and that the Reading section ranged from the A1 level to the B2 level. The Reading section did not meet the two-thirds criterion at the C1 level; 45 percent of the panelists (10 of 22) recommended a cut score at this level. Although the two-thirds criterion was not satisfied, ETS understands that decision makers may still need to have a reference for what a potential TOEIC Reading cut score may be at this level. It is with this awareness that the C1 value of 455 is reported.

They also established that the *TOEIC Bridge* test ranged from the A1 level to the B1 level. These results are consistent with the claims of the tests.

Interpreting Results

Institutions, employers, English programs and learners can interpret the recommended minimum scores on the TOEIC and *TOEIC Bridge* tests by referring to the global descriptors and other tables in the CEFR at www.ets.org/scoredesc. The results represent the recommendations of informed experts using recognized standard-setting approaches. However, they should be considered guidelines, as ETS does not recommend the use of rigid cut scores.

Technical Report

This standard-setting study was conducted by ETS researchers Richard J. Tannenbaum, Ph.D., and E. Caroline Wylie, Ph.D., in October 2006.

Test/Test Section	Total Score Scale Range	Minimum Score				
		A1	A2	B1	B2	C1
TOEIC Listening and Reading Total¹						
TOEIC Listening	5–495	60	110	275	400	490
TOEIC Reading	5–495	60	115	275	385	455 ⁴
TOEIC Speaking and Writing²						
TOEIC Speaking	0–200	50	90	120	160	180 ⁵
TOEIC Writing	0–200	30	70	120	150	180 ⁵
TOEIC Bridge³						
<i>TOEIC Bridge</i> Listening	10–90	46	64	84		
<i>TOEIC Bridge</i> Reading	10–90	46	70	86		

¹ TOEIC Listening and Reading scores are reported in 5-point increments.

² TOEIC Speaking and Writing scores are reported in 10-point increments. No total score is reported.

³ *TOEIC Bridge* scores are reported in 2-point increments. No total score is reported.

⁴ TOEIC Reading C1 minimum score is based on 45 percent of the panelists.

⁵ These cut scores were adjusted from the recommended study values.

For information about this study:

Europe, Middle East and Africa Call us at **+33 1 40 75 91 15**, or for additional information about CEFR in Europe, the Middle East and Africa, email us at CEF@etsemea.org.

All other locations Call us at **+1-609-771-7170** (U.S.) or email us at globalforum@ets.org.



Copyright © 2013 by Educational Testing Service. All rights reserved. ETS, the ETS logo, LISTENING. LEARNING. LEADING. and TOEIC are registered trademarks of Educational Testing Service (ETS) in the United States and other countries. TOEIC BRIDGE is a trademark of ETS. 23728

741185



Listening. Learning. Leading.®

www.ets.org

高校生 TOEIC® テスト / TOEIC Bridge® Can Do ガイド

文部科学省では平成24年度から「英語力の検証と指導改善を図るための英語力等外国語能力強化地域の形成」事業を実施しています。英語力等外国語能力強化地域においては、各校独自のCan Doリストを利用した客観的な到達目標の作成を推奨しています。当協会では、本事業に対する情報提供の一環として、TOEIC/TOEIC Bridge IPテスト* を受験した高校生を対象にCan Doアンケート調査を行いました。

TOEIC Bridge®

Can Do ガイド

スコア	Can Do	
180~160	<p>Listening</p> <ul style="list-style-type: none"> 知っている話題であれば、テレビのニュースでアナウンサーの話す内容を聞いて理解することができる 映画やテレビドラマを見て(聞いて)内容を理解することができる 興味関心のある話題であれば、一定のまとまりのある話を理解することができる 駅での一般的なアナウンス(発車時刻、乗り場、行き先など)を聞いて理解できる <p>Reading</p> <ul style="list-style-type: none"> 映画の英語字幕を見て内容を理解できる CD等に付属している英語の楽曲の歌詞を見て内容を理解できる パンフレットやチラシ等を読んで商品の特徴や価格などの必要な情報を把握できる 電車やバス等、時刻表を見て、出発/到着時間や行き先を理解できる <p>Speaking</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分が学校で置っている(いた)ことについて説明できる 親しい友人・知人の前で、簡単なスピーチができる 今日一日の自分の行動を順を追って説明できる(例:何時に起き、次に何をし…) <p>Writing</p> <ul style="list-style-type: none"> 友達宛に誕生日会開催の案内状を書くことができる 自分の履歴書(自己紹介等)を書くことができる まだ会ったことのない人に自分を紹介する内容の手紙を書くことができる 友達に待ち合わせの場所や時間を知らせるメモを書くことができる 自分の将来の夢(どういった職業に就きたいか等)についての作文が書ける 日記を書くことができる <p>Function</p> <ul style="list-style-type: none"> 分量や用量、大きさ等を表現できる(例:1平方メートルの板、5リットルの水、5トンの鉄) 頻度を表す表現ができる(例:この機械は時々故障する、彼はいつも遅れてくる) 心配を表す表現ができる(例:あなたが電車で乗り遅れないか心配です) <p>Interaction</p> <ul style="list-style-type: none"> 旅行の滞在目的、滞在期間等を人に説明できる 友達の家で電話して友達を電話口呼び出してもらうことができる 自分の行きたい場所までの道順や行き方を人に尋ねることができる 	
	158~140	<p>Reading</p> <ul style="list-style-type: none"> レストランの英語メニューがわかる(例:ファーストフード・レストランにあるメニュー) 自己紹介の内容の手紙を見て、相手がどういう人が理解できる 誕生日会など(パーティー)の招待状の内容を理解することができる(例:日時、場所) <p>Speaking</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の友人について、身体的特徴(背が高い等)や性格を説明することができる 自分の将来の夢(来年は何をしたいと思っているか等)について話すことができる 自分の日常生活について(起床、昼食の時間など)話すことができる レストラン(ファーストフード等)で(メニューを見ながら)注文することができる 人に何をしている人か(職業)尋ねることができる <p>Writing</p> <ul style="list-style-type: none"> 友達にBirthday CardやChristmas Card、年賀状といった短いレターを書くことができる 友達に自分が夏休み等に何をしていたかを知らせる葉書(手紙)を書くことができる 自分の家の住所を書くことができる <p>Function</p> <ul style="list-style-type: none"> 何時から何時までといった表現ができる(例:昼食時間は12時から1時までです) 理由を尋ねる表現ができる(例:なぜ遅刻したのですか) 予測や可能性を表す表現ができる(例:今日は雨が降りそうだ、明日の試合は自分達のチームが勝つだろう) 自分の意見を断定的な表現で表すことができる(例:明日の文化祭は中止するべきだ)

本資料は、TOEIC/TOEIC Bridge IPテストを実施した高等学校の協力を得て、Can Doアンケート調査の結果をまとめたものです。ご覧いただくにあたり、以下の点にご留意ください。

- (1) 調査対象者は、高校生限定。
- (2) Can Doアンケート項目は、過去にETSやIBCで行ったCan Doリサーチで使用した項目を基に、高校生が回答するにあたり、理解しやすい内容とする。
- (3) TOEICテストとTOEIC BridgeのCan Doアンケート項目は同一の内容とする。
- (4) 同一人物がTOEICテストとTOEIC Bridge両方のアンケートに回答した事例はない。
- (5) Can Doアンケートのスキルカテゴリーの「Function」では学校で学ぶ文法的項目に近い内容を集め、学習内容をどの程度理解し、身につけているか確認できるような構成となっている。

* IPテスト…団体特別受験制度(IP:Institutional Program)

スコア	Can Do
138~120	<p>Listening</p> <ul style="list-style-type: none"> ゆっくりと話してもらえば、目的地(駅、スーパー等)までの道順を理解できる <p>Reading</p> <ul style="list-style-type: none"> 簡単に書かれた英語の地図を見て通りや店、病院などを探ることができる <p>Function</p> <ul style="list-style-type: none"> 日付や時間の表現ができる(例:運動会は5月10日午前9時30分からです) 自分が必要な物を表現することができる(例:英語の勉強には辞書が必要です) 何か物が欲しいことを表現できる(例:何か書くものを下さい、水が飲みたい) 人をお願いをする表現ができる(例:机を動かすのを手伝って欲しい、明日この本を学校に持って行って欲しい) 自分が得意なこと、できることを説明する表現ができる(例:ピアノを弾くことができる、人より速く走れる) 人に許可を求める表現ができる(例:このボールを使ってもいいですか?) 数量を表現できる(例:鉛筆3本、卵5個) 人を誘う表現ができる(例:お昼ご飯に行きましょう、明日映画を観に行こう) 人がいる、あるいは物が置いてある場所の表現ができる(例:机の上、ドアの後ろ、ロッカーの中) <p>Interaction</p> <ul style="list-style-type: none"> 初対面の人と簡単な挨拶の言葉を交わすことができる
	118~100
98~80	
	78~60
58~20	

TOEIC® テスト

Can Do ガイド

スコア	Can Do
990～900	*高校生を対象とした調査のため、有効なサンプル数に達していない
895～800	<p>Listening</p> <ul style="list-style-type: none"> 初めて耳にする話題であってもテレビのニュースを聞いてアナウンサーの話す内容を理解することができる 映画やテレビドラマを見て(聞いて)内容を理解することができる ニュース等で(知っている)スポーツ選手がインタビューに答えている内容を聞いて理解することができる <p>Reading</p> <ul style="list-style-type: none"> 初めて目にする話題であっても、(身近な内容であれば)英字新聞を読んで内容を理解することができる 社会的な出来事に関する(新聞・雑誌)記事を理解することができる <p>Writing</p> <ul style="list-style-type: none"> 自由研究の内容についての説明文を作成できる 読んだ本についての感想文を書くことができる <p>Interaction</p> <ul style="list-style-type: none"> 旅行に行ったとき、ホテルのフロントで通常のチェックイン、チェックアウト手続きを取れる 旅行に行ったとき、ホテルのフロントで宿泊日程変更(延長、キャンセル)のやりとりができる 銀行窓口で、お金の引出しや両替といった簡単な用を足すことができる 電機店等で自分の欲しい商品について販売員と話すことができる 電機店等で、故障した商品について説明し修理を依頼することができる 電車で荷物(携帯等)を紛失する等のトラブルがあった際に、駅員に状況を説明し、その後の対応について確認を取ることができる
795～700	<p>Listening</p> <ul style="list-style-type: none"> レストランでウェイターが行う本日のお勧めメニューの説明を聞いて理解できる <p>Reading</p> <ul style="list-style-type: none"> 英語の物語、小説を読んで理解することができる 映画の英語字幕を見て内容を理解できる CD等に付属している英語の楽曲の歌詞を見て内容を理解できる 英語で書かれた自分に興味がある内容のホームページを見て内容を理解できる <p>Speaking</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分が見た映画、テレビ番組のあら筋を説明できる <p>Writing</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の履歴書(自己紹介等)を書くことができる <p>Interaction</p> <ul style="list-style-type: none"> レストラン(映画館等)に電話して予約をすることができる タクシーの運転手に自分の行きたい場所を説明することができる 自分が興味/関心を持つ分野で人と議論し、相手と意見が異なった際には、なぜ自分はそう考えるのか理由を添えて説明することができる 日本に観光に来た外国人に何かを尋ねられた際に(目的地までの行き方等)、応対してあげることができる
695～600	<p>Listening</p> <ul style="list-style-type: none"> 知っている話題であれば、テレビのニュースでアナウンサーの話す内容を聞いて理解することができる 興味関心のある話題であれば、一定のまとまりのある話を理解することができる 駅での一般的なアナウンス(発車時刻、乗り場、行き先など)を聞いて理解できる 病院、図書館、映画館等の場所で放送される簡単なアナウンスを聞いて内容を理解できる 意見が異なる2人の議論を聞いて、双方の主張の要点や対立点が理解できる <p>Reading</p> <ul style="list-style-type: none"> パンフレットやチラシ等を読んで商品の特徴や価格などの必要な情報を把握できる <p>Speaking</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の家までの道順を説明できる 自分がとった行動についてその理由を説明できる(例:部活動に入った理由、遅刻や欠席の理由) 意見が対立している時に、どう理由でどちらに賛成する(あるいは反対する)といった自分の立場を表明できる <p>Writing</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の家まで行く道順を書き表すことができる 自分の将来の夢(どういった職業に就きたいか等)についての作文が書ける <p>Function</p> <ul style="list-style-type: none"> 分量や用量、大きさ等を表現できる(例:1平方メートルの板、5リットルの水、5トンの鉄) <p>Interaction</p> <ul style="list-style-type: none"> 親しい友人/知人と、自分が関心を持つ最近の出来事や事件について話し、自分の考えを伝えることができる
595～500	<p>Reading</p> <ul style="list-style-type: none"> レストランの英語メニューがわかる(例:ファーストフード・レストランにあるメニュー) 日本語で事前に内容を知っている話題であれば、英字新聞を読んで理解することができる 電車やバス等、時刻表を見て、出発/到着時間や行き先を理解できる <p>Speaking</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分が学校で習っている(いた)ことについて説明できる 親しい友人・知人の前で、簡単なスピーチができる 今日一日の自分の行動を順を追って説明できる(例:何時に起き、次に何をし…) もし今自分に十分な時間とお金があったら何をしたいか、というテーマで話ができる <p>Writing</p> <ul style="list-style-type: none"> 旅行に持っていくものの一覧表を書くことができる 友達に自分が夏休み等に何をしていたかを知らせる葉書(手紙)を書くことができる 遅刻した理由を説明するための文書を書くことができる まだ会ったことの無い人に自分を紹介する内容の手紙を書くことができる 友達に待ち合わせの場所や時間を知らせるメモを書くことができる 日記を書くことができる <p>Function</p> <ul style="list-style-type: none"> 希望や不安を表す表現(～かな)ができる(例:明日は晴れるかな、彼は私の英語を理解してくれるだろうか) 心配を表す表現ができる(例:あなたが電車に乗り遅れないか心配です) <p>Interaction</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の行きたい場所までの道順や行き方を人に尋ねることができる

スコア	Can Do
495～400	<p>Speaking</p> <ul style="list-style-type: none"> レストラン(ファーストフード等)で(メニューを見ながら)注文することができる <p>Writing</p> <ul style="list-style-type: none"> 友達宛に誕生日会開催の案内状を書くことができる 自分の家の住所を書くことができる <p>Function</p> <ul style="list-style-type: none"> 予測や可能性を表す表現ができる(例:今日は雨が降りそうだ、明日の試合は自分達のチームが勝つだろう) 自分の意見を断定的な表現で表すことができる(例:明日の文化祭は中止するべきだ) 自分の意見を提案するような形で表現できる(例:明日の運動会は中止にしてはどうでしょうか) <p>Interaction</p> <ul style="list-style-type: none"> 旅行の滞在目的、滞在期間等を人に説明できる 友達の家で電話して友達を電話口呼び出してもらうことができる
395～300	<p>Listening</p> <ul style="list-style-type: none"> ゆっくりと話してもらえば、目的地(駅、スーパー等)までの道順を理解できる <p>Reading</p> <ul style="list-style-type: none"> 簡単に書かれた英語の地図を見て通りや店、病院などを探することができる 自己紹介の内容の手紙を見て、相手がどういう人が理解できる 誕生日会など(パーティー)の招待状の内容を理解することができる(例:日時、場所) <p>Speaking</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の友人について、身体的特徴(背が高い等)や性格を説明することができる 自分の将来の夢(来年は何をしたいか等)について話すことができる 自分の日常生活について(起床、昼食の時間など)話することができる 人に何をしている人が(職業)尋ねることができる <p>Writing</p> <ul style="list-style-type: none"> 友達にBirthday CardやChristmas Card、年賀状といった短いレターを書くことができる <p>Function</p> <ul style="list-style-type: none"> 何時から何時までといった表現ができる(例:昼食時間は12時から1時までです) 理由を尋ねる表現ができる(例:なぜ遅刻したのですか) 頻度を表す表現ができる(例:この機械は時々故障する、彼はいつも遅れてくる) 人がいる、あるいは物が置いてある場所の表現ができる(例:机の上、ドアの後ろ、ロッカーの中) <p>Interaction</p> <ul style="list-style-type: none"> 初対面の人と簡単な挨拶の言葉を交わすことができる
295～200	<p>Speaking</p> <ul style="list-style-type: none"> 相手の言っていることがわからない時に、聞き返したり、もっとゆっくり話してくれるよう頼むことができる <p>Function</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分が得意なこと、できることを説明する表現ができる(例:ピアノを弾くことができる、人より速く走れる) 数量を表現できる(例:鉛筆3本、卵5個)
195～10	<p>Listening</p> <ul style="list-style-type: none"> "How are you?" "Where do you live?" といった簡単な挨拶や質問を理解できる 自己紹介を聞いて、相手の名前や出身地等を聞き取ることができる 曜日や月を聞いて理解できる 日付、時間を聞いて理解できる 先生が授業中などに出す指示を理解できる(例: "Repeat after me." "Open your textbook ...") <p>Reading</p> <ul style="list-style-type: none"> アルファベットを大文字、小文字とも読むことができる 簡単な案内用看板を見て意味を理解できる("EXIT" "Entrance" "Stop!") <p>Speaking</p> <ul style="list-style-type: none"> 自己紹介(氏名、年齢、学年等)ができる 人と会った時や別れの際の挨拶ができる 自分の出身地を人に伝えることができる 自分の家族構成について説明することができる 曜日や月の名前が言える 数を数えることができる <p>Writing</p> <ul style="list-style-type: none"> アルファベットを大文字、小文字とも書くことができる <p>Function</p> <ul style="list-style-type: none"> 「私は〇〇を持っている」という表現ができる(例:私はノートパソコンを持っています) 何かわからない物について「それは何ですか?」といった質問ができる 日付や時間の表現ができる(例:運動会は5月10日午前9時30分からです) 自分が必要な物を表現することができる(例:英語の勉強には辞書が必要です) 何か物が欲しいことを表現できる(例:何か書くものを下さい、水が飲みたい) 人をお願いをする表現ができる(例:机を動かすのを手伝って欲しい、明日この本を学校に持って行って欲しい) 人に許可を求める表現ができる(例:このボールを使っていいですか?) 人を誘う表現ができる(例:お昼ご飯に行きましょう、明日映画を観に行こう)



一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会
TOEIC® 公式サイト <http://www.toeic.or.jp>

お問い合わせ	【東京】 〒100-0014 東京都千代田区永田町2-14-2 山王グランドビル	TEL. 03-5521-5901
	【名古屋】 〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦2-4-3 錦パークビル	TEL. 052-220-0282
	【大阪】 〒541-0059 大阪府大阪市中央区博労町3-6-1 御堂筋エスジービル	TEL. 06-6258-0222

ETS, the ETS logo, PROPELL, TOEIC, TOEIC Bridge, TOEIC BRIDGE are registered trademarks of Educational Testing Service in the United States, Japan and other countries and used under license.

本資料の無断転載・複製を禁ず(2013/9)